

ケアプランナー・指定相談事業所連絡会

執行部 川俣伸枝(絆の会相談室)、和田麻奈美(歩楽里)

大久保千鶴(サンライズ相談室)、平田智己(まい・すてっぷ相談支援室)

ケアマネ連絡会担当者 青木麻都香(北部障害者相談支援センター)

小山多恵子(長野市障害者権利擁護サポートセンター)

長野市障害福祉課担当者 立原博之、朝日健一

1 年間テーマ

2 部会等の開催状況

日時		会場	人数 (人)	部会のテーマ	主な内容
月	日				
6	4	長野市役所	39	支援について語ろう	・事業所紹介、事務連絡 ・事例検討
8	6	長野市役所	38	重層的支援体制について	・事業所紹介、事務連絡 ・医療機関と相談支援事業所の連携 ・個別避難計画について他
10	3	長野市役所	28	テーマごとのグループワーク ① 行き詰った時の支援 ② 就労 B 型事業所へ通所できなくなった時の支援 ③ 家族との関わり方 ④ 家族関係の支援 ⑤ 障害児通所支援	・事業所紹介、事務連絡 ・モニタリングについて サービス等利用計画について 【グループワーク】
12	5	長野市役所	32	テーマごとのグループワーク 障害→介護への移行1 ① 障害→介護への移行2 ② 家族との関わり方 ③ 学校との連携 ④ その他	・事業所紹介、事務連絡 ・個別避難計画について ・プランシート変更について 【グループワーク】
2	7	長野市役所	35	・相談支援体制の再構築に向けて グループワーク 令和6年度の振り返り 来年度に向けての取り組み	・事業所紹介、事務連絡 ・相談支援体制の再構築に向けて 【グループワーク】

3 機関紙、冊子、アンケート調査・行事など報告書

- ・ 今年度の振り返りと来年度に向けてのアンケートを実施。

令和 6 年度 事業報告

4 課題について

(1)主な検討課題

- ・ アンケートをもとに日頃感じている課題を中心にテーマや実施内容を決めた。

(2)検討の目的と結果(現状)

(3)引き続き検討が必要とされる課題

(4)部会の運営体制について

- ・ ケアマネ、長野市ケースワーカー、相談支援専門員が連携し運営を行った。4 月に「誰でも研修会」を行い、6 月、8 月 10 月、2 月と 2 か月に 1 回の計画に沿って開催した。今年度は、Zoom の活用はせず人数制限もなく、すべて参集型での開催をした。
- ・ 各回のテーマは年度末のアンケート結果と執行部での話し合いをもとに設定した。
- ・ 執行部は長野市内北部、南部から 2 名ずつ新旧の調整をしながら選出した。

5 総括(1 年間を振り返って)

相談支援専門員が、日頃感じている事などを共有できる場として 1 年間取り組みを行った。重層的支援体制などの学習会に加え、テーマごとにグループワークを実施することで、「他の相談員の取り組み方や課題が聴けた、一つの事例に対しても様々な意見が聴ける」などの貴重な時間となった。テーマ課題にとどまらず、いろんな話ができる情報共有の場として学びの場にもなっており、障害児相談員のみでのグループワークも今後のヒントを得る事ができるなど有意義な機会となった。

児童から高齢の方まで、多岐に渡るケースの中では一つのテーマに絞って取り上げていく事に難しさはあるが、今年度のようにライフステージ移行の課題、学校との連携、家庭支援、就労についてなど地域で生活していくためのニーズや資源など、複数のテーマを取りあげていくことで、今後も内容の充実に繋げていきたい。来年度も情報共有とコミュニケーションが取れる場として、様々なテーマを検討し、前向きな課題解決や日常の相談員業務にフィードバックをしていきたい。